

13 市民とともに歩み、成長していく施設づくりを目指して

酒田コミュニケーションポートは、建てて終わりではありません。開館後の運営、サービスの中身こそが重要であり、多くの市民に愛され続け、使われ続けるには、組織の持続的な成長が欠かせません。

市民のものとして、市民と協働し、ともに成長していくことで、目標を達成することができます。市民アンケートでは、運営に参画してみたいという回答が 56.3%と半数以上もの多さで、多くの市民の参画意欲が確認できました。

具体的な市民協働の仕組みとして、次のことが考えられます。

- ・アンケート（満足度調査等）、ワークショップ、グループインタビュー等の定期的実施

市民の声を事業計画に反映させていくため、様々な手法を用いて、中長期的に市民が参画しやすい環境を作ります。

- ・市民サポーター制度の導入

ボランティア団体とも連携し、施設全体の市民サポーターを形成します。

- ・運営評価委員会への参画（再掲）

公募により運営評価などを行う委員会への市民参画を図ります。

施設が出来てからが、本当のスタートだとも言えます。時代の流れとともに市民ニーズの変化に的確に反応し、対応できるよう、市民参画型の施設づくりを進めていきます。